

第3回 道路交通検討幹事会 議事要旨

1 日時 令和3年10月5日（火）10時30分～11時30分

2 場所 いわき市文化センター3階 大会議室

3 出席者

No	区分	所属	氏名	出欠
1	貨物自動車運送事業者 が組織する団体	公益社団法人 福島県トラック協会 いわき支部 支部長	松尾 活秀	○
2	高速道路管理者	東日本高速道路株式会社東北支社 いわき管理事務所 副所長	奥野 俊	○
3	国	国土交通省東北地方整備局 磐城国道事務所 調査課長	加藤 修一	○
4		国土交通省東北地方整備局 小名浜港湾事務所 企画調整課長	遠藤 祐二	○
5	県	福島県いわき建設事務所 企画調査課長	吉田 和成	欠
6		福島県いわき建設事務所 道路課長	加藤 高洋	欠
7		福島県小名浜港湾建設事務所 企画調査課長	鈴木 好美	○
8	公安委員会	福島県いわき中央警察署 交通第一課長	松崎 郁郎	(代) 交通1課 津野係長
9		福島県いわき東警察署 交通課長	石井 隆浩	○
10		福島県いわき南警察署 交通課長	佐久間 健	○
11	市	いわき市土木部 土木課長	佐藤 慎一	○
12		いわき市土木部 道路管理課長	渡邊 仁	○
13		いわき市都市建設部 都市計画課長	紺野 克彦	○
14		いわき市都市建設部 総合交通対策担当課長	渡邊 直	○

アドバイザー

1	学識経験者	独立行政法人国立高等専門学校機構 福島工業高等専門学校 ビジネスコミュニケーション学科 教授	芥川 一則	○
2	学識経験者	福島大学 経済経営学類 准教授	吉田 樹	○

- 事務局：いわき市都市建設部都市計画課

4 概要

(1) 開会

司会による開会の宣言

(2) 委員紹介

司会から委員の紹介

(3) 幹事長あいさつ

幹事長の紺野委員による挨拶

(4) 協議

≪検討事項≫

① 将来交通需要予測の結果について、事務局より説明。

② 第二次都市交通マスタープラン（案）の確認について、事務局より説明。

③ 都市・地域総合交通戦略における施策パッケージ（案）について、事務局より説明。

(5) その他

(6) 閉会

5 配布資料

次第

席次

出席者名簿

資料 1：会議資料

資料 2：参考資料

別紙 1：道路交通検討幹事会運営要領

別紙 2：意見照会様式

6 委員からの主な意見と事務局の考え（要旨）

○：委員 ➡事務局 ➤：アドバイザー

《検討事項》

① 将来交通需要予測の結果について

意見なし

② 第二次都市交通マスタープラン（案）の確認について

➤ 需要予測の結果の中で、2040年の公共交通機関の分担率が、現状趨勢型と比較すると施策実施型で0.6%増加しているが、公共交通施策を行うだけで増加するものなのか

➡ 公共交通施策だけでなくICチケットやシェアサイクルなどのTDM施策なども含めて、公共交通機関の分担率が増加する結果となったものと認識している。

➤ 公共交通ネットワークの基本的な考え方で「地域公共交通の確立」とあるが、地域公共交通の何を確立するのか。

➡ 公共交通検討幹事会における議論も含めて、考え方や表現を考えていきたい。

➤ 公共交通ネットワークの基本的な考え方で「交通結節点の明確化」とあるが、その目的は何か。交通結節点における「まちづくりの拠点」と「交通ネットワーク上の拠点」の2つの役割などから、明確化する目的をわかりやすくした方がよい。

➡ 乗り換え利便性の向上や待ち時間の短縮など交通ネットワーク上の拠点という観点から記載しているものであるが、立地適正化計画の拠点づくりとの関係性がわかるように表現を改めたい。

➤ 需要予測の結果の中で、将来の総トリップ数が減少すると説明があったが、これからは今よりも交通量が減る道路もでてくることが予想される。これから人口減少で税収も減る中、そのような道路の維持補修をどうしていくのかというところを、ぜひ考えてもらいたい。

➡ アドバイザーから指摘のあった内容については、アドバイザーと事務局との個別協議の中で整理し、それらを反映した第二次都市交通マスタープランをもって、幹事会としては、いわき都市圏総合都市交通推進協議会などへ検討・報告を諮っていくことでのよろしいか。

○ 異議なし

③ 都市・地域総合交通戦略における施策パッケージ（案）について

意見なし（引き続き、関係者との協議を継続）

以上